

高齢者の現状

1 急速に進行する高齢社会

日本は、他の先進国に例を見ない速度で高齢化が進み、国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口（平成29年推計）」によると、令和5年における65歳以上の高齢者人口は3,658万4千人で、総人口に占める割合（高齢化率）は29.6%となっています。高齢者人口及び高齢化率は、平均寿命の伸長や低い出生率を反映して今後も上昇し続け、令和18年（2036年）には、高齢者人口は3,808万4千人、高齢化率は33%を超え、国民の3人に1人が65歳以上の高齢者という超高齢社会が到来すると見込まれています。

このような中、国勢調査による本市における高齢化率は、平成12年では18.3%、平成17年では22.2%、平成22年では26.5%、平成27年では31.8%、令和2年では34.6%となっており、令和5年4月1日現在の住民基本台帳では35.0%に達し、国の推計値を上回る状況となっています。

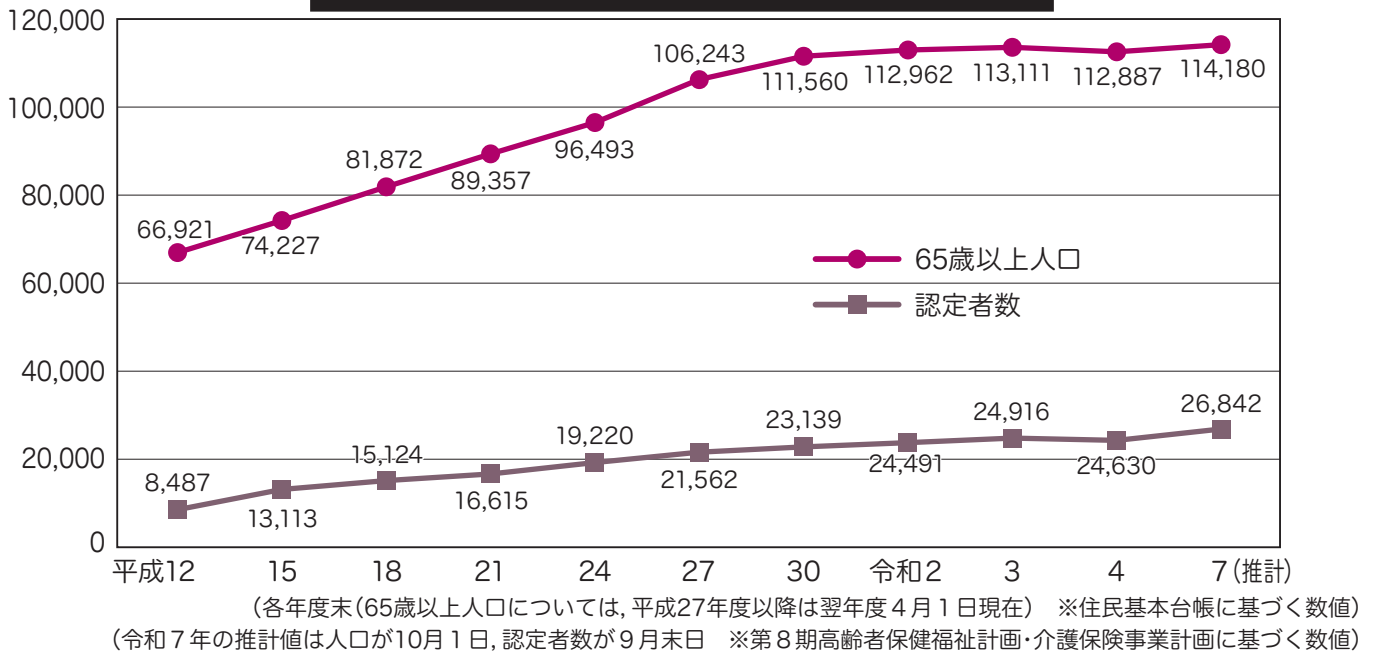
2 旭川市の高齢者人口と介護保険給付費の推移

旭川市の65歳以上人口と割合

	男性		女性		合計	
総人口	149,609人		172,918人		322,527人	
65歳以上	46,747人	31.2%	66,140人	38.2%	112,887人	35.0%
65～69歳	10,594人	7.1%	12,142人	7.0%	22,736人	7.0%
70～74歳	12,910人	8.6%	15,977人	9.2%	28,887人	9.0%
75～79歳	9,605人	6.4%	12,984人	7.5%	22,589人	7.0%
80～84歳	6,929人	4.6%	10,828人	6.3%	17,757人	5.5%
85～89歳	4,449人	3.0%	7,888人	4.6%	12,337人	3.8%
90～94歳	1,884人	1.3%	4,535人	2.6%	6,419人	2.0%
95～99歳	336人	0.2%	1,530人	0.9%	1,866人	0.6%
100歳以上	40人	0.0%	256人	0.1%	296人	0.1%

(令和5年4月1日現在)

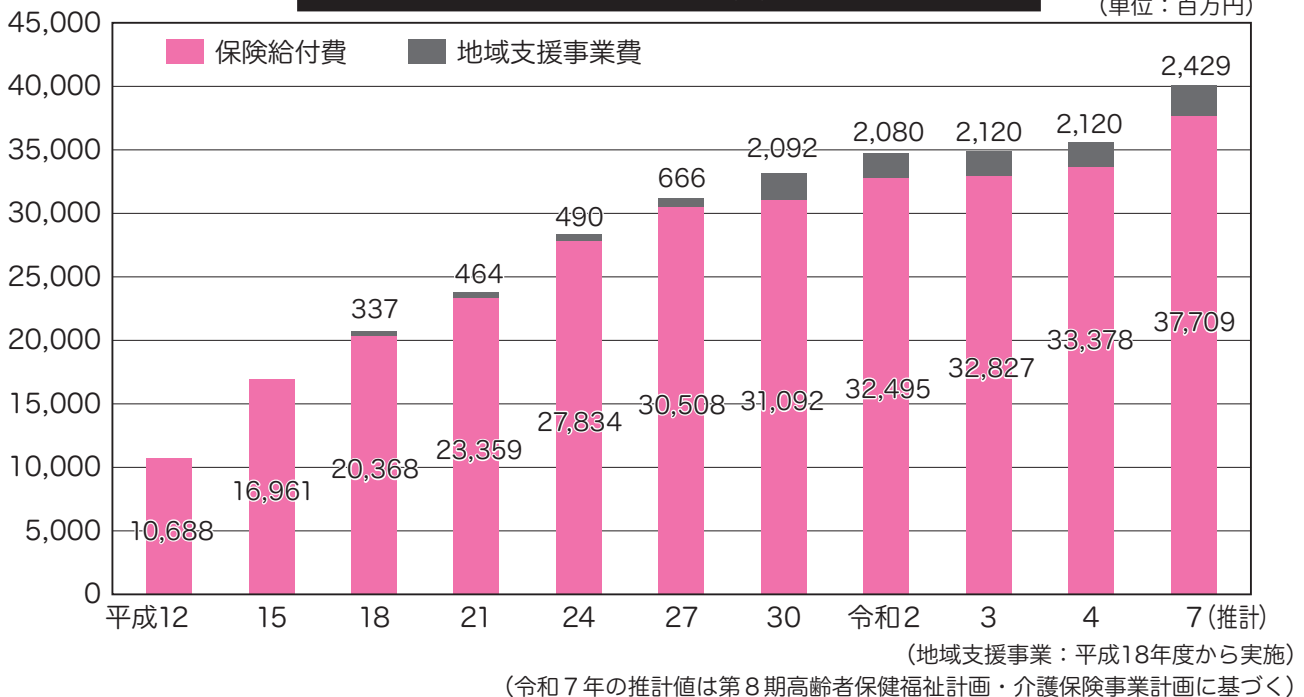
旭川市の65歳以上人口と要介護認定者数の推移



平成12年の介護保険制度開始時には、旭川市の高齢化率は17.7%でしたが、令和5年4月1日現在では35.0%と状況は大きく変わっています。また、介護保険制度開始時と比べ、令和5年4月1日時点での本市の高齢者数は約1.7倍、要介護等認定者数で約2.9倍となっています。

旭川市の介護給付費の推移

(単位：百万円)



旭川市の令和4年度（見込）の介護保険給付費は、平成12年度の介護保険制度開始時と比べて、約3.1倍に増加しています。

高齢者のさらなる増加が見込まれる中、旭川市では医療保険情報との照合や、介護サービス利用者に対する給付費通知の送付により介護サービスを見直す機会を提供するなど、必要以上の介護給付の抑制を図るとともに、65歳以上の方に対し介護予防のための事業（8ページ）を実施することにより、持続可能な介護保険の運営に努めています。